

令和2年(2020年)11月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2020年11月 数量 (トン)	2020年11月 平均単価 (円)	前年同月比 数量	前年同月比 平均単価
1	野菜	大根	千葉県産・神奈川県産中心の入荷でした。天候が安定し、降雨も少なかったため、生育が良く、Lサイズ中心の入荷でした。入荷量はやや減少しました。平均単価はかなり安く推移しました。	546	64	91%	63%
2		はくさい	茨城県産中心の入荷でした。全国的に気温が高く、生育が順調となったため、高品質でした。入荷量はやや減少しました。平均単価は大幅に安く推移しました。	623	37	97%	45%
3		きゅうり	宮崎県産を中心に埼玉県産・群馬県産・福島県産の入荷でした。安定した天候により、順調な出荷となり、入荷量は増加しました。平均単価は安く推移しました。	329	311	116%	82%
4		ねぎ	東北産・関東産中心の入荷でした。関東産は9月の日照不足の影響により、作柄が悪く、入荷量はやや減少しました。平均単価は安く推移しました。	229	285	91%	83%
5		たまねぎ	北海道産中心の入荷でした。作柄良好も入荷量は減少しました。平均単価はやや安く推移しました。	605	72	89%	93%
6	果実	早生みかん	良好な生育により、順調な出荷となり、入荷量はかなり増加しました。平均単価はやや高く推移しました。	848	275	145%	108%
7		ふじ	早生の多在庫により、晩生への移行が出遅れたため、入荷量はやや減少しました。平均単価は安く推移しました。	236	266	93%	87%
8		次郎柿	作柄不順による不作傾向のため、入荷量は減少しました。平均単価は高く推移しました。	27	298	87%	119%

【増減基準】

- ①並み、横ばい：(+-)0~2%
- ②やや増加(減少)：(+-)3~10%
- ③増加(減少)：(+-)11~20%
- ④かなり増加(減少)：(+-)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少)：(+-)51%以上